



2016. 12. 1

12月ようちえんだより

西神戸YMCA幼稚園

幼稚園ではロビーや扉にクリスマスの装飾がなされ、神様の御子イエス・キリストの降誕を待ち望むアドベントを迎えています。登園してきた子どもたちは「やったークリスマスツリーだ!」「わー、きれい」とクリスマスの装いに目をキラキラさせて入っていきます。このようにクリスマスを素直に喜び、幸せを感じる子どもたちの様子をみることで、毎年この季節には喜びをともにできる幸せを感じています。

ナザレのガリラヤの町に住むダビデ家のヨセフのいいなずけ、おとめマリアのところに天使ガブリエルは遣わされました。「おめでとう恵まれた方。主はあなたと共におられる。」マリアはこの天使の言葉に戸惑いといった何のこたなのかと思いを巡らせます。そして天使ガブリエルから聖霊によって子どもを身ごもることを聞いてどうしてそんなことが起こるのかと悩むのです。しかし、信仰の深いマリアは「わたしは主のはしためです。お言葉どおり、この身に成りますように。」と全てを受け入れるのです。そして夫となるヨセフもそのことを受け入れマリアを支えます。そして誕生したのがイエス・キリストです。

聖書には、イエス・キリストの誕生についての記載は多くあります。その中で、神様がなぜこの世界に御子をお遣わしになったかという次のような箇所があります。

“神は、独り子を世にお遣わしになりました。

その方によって、わたしたちが生きようになるためです。

ここに、神の愛がわたしたちの内に示されました。

わたしたちが神を愛したのではなく、神がわたしたちを愛して、
わたしたちの罪を償ういけにえとして、御子をお遣わしになりました。

ここに愛があります。

愛する者たち、神がこのようにわたしたちを愛されたのですから、
わたしたちも互いに愛し合うべきです。”

(ヨハネの手紙Ⅰ：4章9～11)

イエス・キリストは私たちが愛して下さる神さまからの贈り物です。クリスマスに神さまの愛を感じ、そしてその愛をともに喜び合うことができる。そんなクリスマスを経験することで子どもたちが自分のことだけを考えるのではなく、全ての子どもたちが世界中の仲間とお互いに愛しい平和を実現出来る者として成長することを願っています。

年主題 『平和』をともに

<年主題聖句> 「キリストはわたしたちの平和であります。」

(エフェソ信徒への手紙2章14節)

12月主題 「喜び合う」

聖句 “「おめでとう恵まれた方。主があなたと共におられる。」”

(ルカによる福音書1章28節)